



「風力発電を行うと森林が破壊される？」

寒い日が続きますが、皆さんお元気ですか？

私はこの時期が唯一のトレーニング期間で、'冬山修行'と称して週末はスキーによく行っています。

最近聞いた話の中で、え？、と思った話を今回皆様にご紹介したいと思います。

最近では太陽光発電が行き詰まり、風力発電の方に話題が移ってきています。

なんか風力発電って、環境にも優しくって問題なんか何もなさそうに見えますよね。

三菱商事が画期的にコストを下げられる洋上風力発電システムを引っ提げて、自治体の入札で片っ端から落札しているそうです。

ところがこれがとんでもない自然破壊につながるという話を先週聞きました。

これは、またまた武田先生の受け売りなのですが、先生はこれに関する論文を30年も前に書かれていたそうです。

風のエネルギーを受けて発電すると、頑張れば風のエネルギーの5分の1ぐらいのエネルギーは取れるそうです。

しかしその下手の風は、半分ぐらいに減ってしまうようで、そうすると下手の木も半分に減ってしまうそうです。

ホンマかいな？と思う突飛な説にも聞こえるかもしれませんが、以下のような理由の様です。

木は地中から水分を吸い上げて生きていますが、風が少ないと、動ける人間とは違い、呼吸をしたり、汗をかくように水分を蒸散させたりすることができなくなります。

よって森林がどれほど成長するかは周辺の風の量で決まるそうです。

そして木が減ると山からの養分や酸素が減り、周辺や下流の生物に大きく影響してきます。

因みにリゾート地の島の海は青く澄んでいますが、「これは山に木がなく、栄養分が上流から流れてこないの、海藻もできず、熱帯魚のような小さい魚しか育たない死の海になっているからだ」と以前聞いたことがあります。

また風が少なくなると花粉も飛ばなくなり、花の量が減ります。

そうすると蝶や蜂も減り、それらを餌にしている動物も減るという'負の食物連鎖'が始まっていきます。

森林だけではなく鳥はプロペラに当たって大量に死に、波打ち際に半分に切れた鳥の死骸が打ち寄せるといふ事もあるそうです。

しかも日本各地の洋上には渡り鳥の通り道があります。

一番深刻なのは人間に直接与える影響で、耳には聞こえない低周波が頭痛や体調不良を起こしているようです。

山形県のある町では影響を受けた人々を引っ越しさせている例も出ているとの事です。

この様な例があるので'洋上'に、という事になったのかもしれませんが...

それでは昔あるような水力発電はどうか？という事なのですが、これも同じで、水流という自然からエネルギーを奪うという点では同じ様です。

例えばダムで水をためて発電する場合、ダムには落ち葉がたくさんたまって腐り、硫化水素が発生します。

これが毒水となって下流に流れ環境を破壊、黒部ダムでは富山湾の1/3が汚染されたといわれています。

もっとも巨大な例としては、エジプトのアスワンハイダムがあり、これに至ってはナイル川の巨大なエネルギーを奪うことにより、川と海のバランスが崩れ、下流に

海水が逆流するという事態になっています。

当然下流では塩害により農業ができなくなってしまいました。

このように自然エネルギーを使用することにより、多くの生物が結局死んでしまいます。

そう考えると太古より多くの生物の死骸からできたといわれる化石燃料を使う方が
良いのではないのか？という結論にならないでしょうか？？？

ブラックスワン食糧保障

草間 弘人

正しく表示されない場合は[こちら](#)

今後も引き続きメールの受信を希望される方は[こちらをクリック](#)してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます。](#)

大阪市港区 弁天 1 - 2 - 1

配信停止

